



今出川校地で建設中の 新校舎2棟の館名が決定!

教学体制を再編するための今出川キャンパス整備事業で、2012年10月に完成する今出川新棟(仮称)と烏丸新棟(仮称)の館名が以下の通り決定しました。

同志社の建物は、同志社の歴史、創立者新島襄や聖書に由来する言葉を用いた名称を館名としてきました。2つの新しい建物が、同志社大学の教育・研究をさらに発展させる役割を担い、これらの館名とともに学生、卒業生および教職員に末永く愛されていくよう願っております。



1. 今出川新棟(仮称)

館名: 良心館

由来: 新島襄は、「同志社大学設立の旨意」(1888年11月)の中で、「一国の良心とも謂ふべき人々を養成せん」と所謂の良心を手腕に運用するの人物を出さん事を勉めたりき」と、同志社が行う教育

について明確に記しています。また、同志社各学校には、「良心之全身」充滿シタル丈夫ノ起リ来ラン事ヲ」と刻まれた「良心碑」があり、同志社教育のシンボルとして新島の志を伝えています。本学は、この建学の精神を「良心教育」と呼んで継承して

おり、本学の教育の新たな出発点を象徴する今出川新棟(仮称)の館名に、同志社においては大変重みのある言葉を用いて「良心館」と命名しました。

2. 烏丸新棟(仮称)

館名: 志高館

由来: 鎖国の時代にあつて單身渡米した新島襄の高い「志」によって誕生した同志社の校名は、文字通り「志を同じくする者が集まって創る結社」を意味し



ます。そのため「志」は、本学において大切な言葉となっており、様々な場面において用いられています。「志を抱いて同志社の門をくぐった学生の皆さん1人ひとりは、キャンパスライフを謳歌し、学術の知識と、獲得した知識を社会に役立てるための知恵を手に入れて「志」を高めていただきたいとの願いを込め、新島が記した「同志社大学設立ヲ要スル主意」(1882年)の文中の言葉※を用いて「志高館」と命名しました。

※「人生ノ志操ヲ高尚ニシ、精神ヲ錬磨シ智力ヲ発達シ思考ヲ奥蘊ナラシメ、又人ヲシテ己ノ本分ヲ知り人類ヲ愛シ」

「大学の国際化のための ネットワーク形成推進事業」 中間評価結果について

3月19日、文部科学省が日本の大学の国際化を推進することを目的に実施している「大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業※」の開始2年経過後の中間評価結果が発表され、同事業に採択された13大学中、本学のみが最高のS評価を受けました。

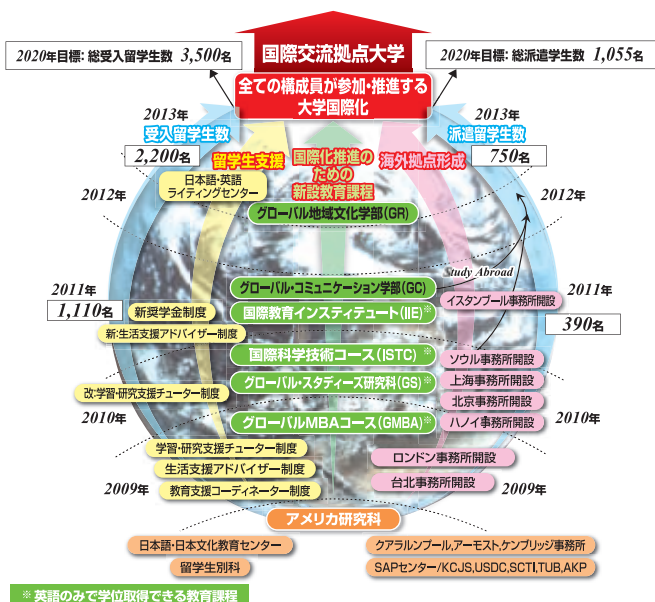
評価された事由としては、学内に設置した、アーモスト、ハーバード、スタンフォード大学等の学生が参加する複数の留學生センターとの緊密かつ継続的な関係、永続的なプログラム展開を見据えた外国人教員の雇用、大学の戦略としての財政支出等

に加え、計画当初の留學生受入数1,110名を35%も上回ったことが挙げられます。しかし、学位取得目的の留學生数は、目標数を上回ったものの、505名に留まっています。今後、世界の大学と伍していくためにも、英語による教育プログラム・授業の充実、学習環境の整備を通じて、世界中からより多くの優秀な留學生を受け入れることが期待されています。加え

て、単に留學生数を増やすだけでなく、中間評価の留意事項として指摘されている通り、教室での交流のみならずクラブ活動等の正課外活動における本学学生と留學生の交流を積極的に推進することが今後の重要な課題であると考えています。

2013年の事業終了までの2年間、当初の目標数である「留學生数2,200名」達成と並行し、留學生との交流推進、本学学生の積極的な海外派遣も含め、世界中から多様な文化背景を持つ学生や研究者が集まり、交流し、時には衝突し、それを乗り越えて異文化間の理解が深まるような知的空間としての大学づくりを目指し、本事業を推進していきたいと考えています。

※旧「国際化拠点整備事業(グローバル30)」(国際化推進室)



▲ 本学の国際化に向けた取り組みの概念図



高野綾さん
ロンドン五輪 競泳女子800mリレー代表決定!

スポーツ健康科学部1年次の高野綾さんが、第30回オリンピック競泳女子大会(2012/ロンドン)競泳女子800mリレー(200m自由形×4選手)の代表選手に決定した。

高野さんは4月4日、東京辰巳国際水泳場で行われた第88回日本選手権水泳競技大会兼第30回ロンドンオリンピック競泳大会代表選手選考

200m自由形に出場し、1分59秒46で4位に入賞。メドレーのメンバーとなる上位4名の合計タイムがオリンピック派遣標準記録を上回ったことから、見事代表の座をつかんだ。

オリンピックは世界大会の中でも特別な舞台。そこに立つことは、水泳の夢だったという。外国人選手と比べ、体格もパワーも日本人が不利なのは否めないため、泳ぎの技術で勝負しかない。後半の追い上げを得意とする高野さんにとって、ライバルが疲



撮影：山崎美香さん(同志社スポーツアクト編集局)

れてスピードを落としたりした時に追い抜けるかが勝負どころとなる。

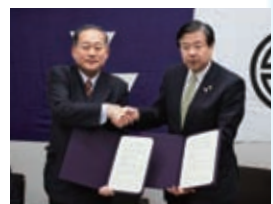
代表決定後、オリンピックへの意気込みを聞いた。

「公式戦でのリレーの経験はほとんどないため、引き継ぎなどのリレー特有の技術は、4月中旬から始まる代表合宿でマスターします。さらに、自己ベストタイムを1.5秒縮めることが目標です。不思議なことに、同じ力で泳いでいるはずなのに、個人競技に比べてリレーで泳ぐ方が、好タイムが出るんです。個人競技なら調子が悪ければあきらめても仕方ありませんが、チームで競技する以上、自分が足を引っ張るわけにはいきません。次につながらなければという強い思いがエネルギーになるんですね。昨年の世界水泳選手権大会で日本は9位でした。決勝進出ラインは競合国が多く混戦が予想されますが、何とか決勝に進出できるように、最後まであきらめずに泳ぎきりたいです。」

高野さんが登場する女子800mリレーは8月1日に行われる。

会津若松市との連携協力に関する包括協定調印式

3月21日、学校法人同志社と福島県会津若松市は連携協力に関する包括協定調印式を同志社大学で執り行いました。



この包括協定は、会津若松市出身である山本覚馬・新島八重兄妹が同志社の創立・発展に深く関わったことにちなみ、教育・観光・文化・まちづくり等の分野で相互に協力し、地域社会の発展と人材交流に寄与することを目的としたものです。包括協定調印式に出席した八田英二同志社理事長は「調印を機に様々な交流を行ってきたい」、室井照平会津若松市長は「新島八重の資料はあまり残っておらず、協力をあおぎたい」と述べられ、今後の連携協力に期待が高まります。

(広報課)

同志社大学の募金事業

本学では、かねてからご父母、教職員はもとより広く社会全般に向けて募金のご協力をお願いしてきました。

昨年度は、今出川キャンパスの教育研究環境の再整備を目的とした「今出川キャンパス新校舎建設資金募金」、教育研究活動を展開する施設設備の整備を目的とした「教育研究施設等整備募金」、経済的困窮に

2011年度 募金事業実績報告書(2011年4月～2012年3月入金分)

募金事業	寄付件数および金額	用途
今出川キャンパス 新校舎建設資金募金	在学生父母 343件 18,542,500円	2011年度に実施した今出川キャンパスおよび鳥丸キャンパスの建設工事のための資金として活用。詳しくはホームページ(http://www.doshisha.ac.jp/granddesign/index.html)をご覧ください。
	卒業生・一般・法人 211件 102,184,000円	
	教職員 24件 928,000円	
	計 578件 121,654,500円	
教育研究施設等 整備資金募金	在学生父母 286件 12,766,500円	2011年度に実施した多目的ホール改修工事を行うなど、施設整備資金として活用。 ■建設事業の詳細は、学校法人同志社発行「事業報告書2011」(同志社大学2011年度の事業実績)に記載しています。
	卒業生・一般・法人 17件 666,434円	
	計 303件 13,432,934円	
奨学金資金募金	在学生父母 1件 10,000円	2011年度に実施した特定寄付奨学金給付の資金として活用。給付件数35件、給付総額10,500千円。残額は2012年度と同奨学金資金として繰越。
	卒業生・一般・法人 55件 5,829,435円	
	教職員 50件 5,390,000円	
	計 106件 11,229,435円	
同志社ローム記念館 プロジェクト・ サポート募金	卒業生・一般・法人 2件 4,200,000円	2011年度に実施した同志社ローム記念館プロジェクト(教職員、学生、生徒と産・官・学・地域の連携によるプロジェクト)の支援資金として活用。
	教職員 4件 106,000円	
	計 6件 4,306,000円	

苦しむ学生を支える特定寄付奨学金制度の資金に充てる「奨学金資金募金」、次代を拓く情報教育プロジェクトを支援する「同志社ローム記念館プロジェクト・サポート募金」事業を行いました。これに対してご父母、卒業生、法人、教職員など多方面からご協力をいただき、集まった資金を活用して所期の事業を実施します。

これも皆さまの深いご理解の賜物と、厚く御礼申しあげます。2011年度の募金事業の実績について、次の通りご報告します。

なお、奨学金資金募金では3月末までに、卒業生および教職員の方々から以下の通りご協力をいただきました。

■2011年度協力者ご芳名

(2012年2月～3月申込分 順不同 敬称略)

【卒業生、ご父母、一般、教職員】

- 50,000円 塚村康志
- 石田修一
- 10,000円 山中光太郎
- 岩本 憲彦
- 5,000円 和田 忠夫
- ご芳名のみ 広田 知大
- 永原 裕大
- 北山 繁樹

※教育研究施設等整備資金募金プロジェクト:サポート募金のご芳名につきましては、別途芳名録を作成しご寄付いただいた方々にお送りしています。

本学では個人の皆さまから広くご寄付を募ることを目的にインターネットでの募金を開始いたしました。皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

URL <https://bokin.doshisha.ed.jp>

インターネットでの募金では以下の払込方法をご選択いただけます。

- 1 クレジットカード
- 2 インターネットバンキング
- 3 口座振替

これらの募金事業については、本年度以降も社会各界に対して継続的に呼びかけを行いますので、引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(資金課)

脳科学研究科で研究拠点形成事業 (Core-to-Core Program) (日本学術振興会) がスタート

大学院脳科学研究科は、平成24年度先端研究拠点形成事業「A. 先端拠点形成型」に採択されました。この事業は、独立行政法人日本学術振興会が、日本で先端的かつ国際的に重要と認められる研究課題を実施する大学院研究科等と世界各国の研究機関をつなぎ、持続的な協力関係を確立することを目的として実施するものです。本研究科は、この事業を通じて、神経シナプス生理学の世界的水準を有する研究教育拠点の構築を目指すとともに、次世代の中核を担う若手研究者の育成を図ります。

神経シナプス生理学拠点代表…高橋智幸教授は、神経シナプスにおける神経とうしの情報伝達メカニズム、特に未解明の部分が多いシナプス前終末の動的特性の解明とその分子基盤の確立を目指します。拠点形成に加わる国外研究機関は、ドイツのマックスプランク協会/ゲッチンゲン大学、イギリスのロンドン大学、フランスのパリ第5大学です。日本側は本学の他に理学研究所脳科学研究センター、自然科学研究機構生理学研究所が参加します。

(脳科学研究科事務室)

同志社総長賞表彰式

同志社総長賞は本法人において、スポーツ活動および文化活動の国際大

会、国際コンクール等で入賞を果たした優秀な学生、生徒、児童又



人制優勝 北川賢吾さん(スポーツ健康科学部)

- ・第10回アジアシニア空手道選手権大会 女子組手 50kg級準優勝 大野ひかるさん(スポーツ健康科学部)
- ・第10回アジアシニア空手道選手権大会 女子団体形優勝 柏岡鈴香さん(スポーツ健康科学部)
- ・IT「フロンテス」[Imagine Cup]日本大会 ソフトウェアデザイン部門優勝 同志社大学チーム「」。今井祐介さん(工学研究科)・石川勇樹さん(工学研究科)・田中志樹さん(経済学部)・今人康友さん(理工学部)

2011年度は、大学長からの推薦で個人6名と1グループ(4名)の受賞者を決定し、3月31日に神学館礼拝堂で表彰式を執り行った。まず、大谷實総長の式辞があり、続いて受賞者に表彰状と副賞が贈られ、最後に、八田英二理事長が祝辞を述べられ、閉会した。

(受賞者一覧)

- ・7人制ラグビーHSBCセブンズワールドシリーズオーストラリア大会シールドトーナメント優勝 正海智大さん(法学部)
- ・柔道2011年韓国ジュニア国際大会男子66kg級第3位 内村将大さん(法学部)
- ・2011シンクロロナイズドスイミング U.S. オープンソロ第2位 コンビネーション第3位 大西春菜さん(スポーツ健康科学部)
- ・IRBジュニアワールドラグビートロフィー2011準優勝 アジアラグビージュニアチャンピオンシップU20男子15

受賞者の皆さんが、今後もそれぞれの立場で大いにリーダーシップを発揮し、さらに精進を重ねられ、創立者新島襄が望んだ知育、体育、徳育ともに優れた「良心の充満した」立派な同志社人に成長されることを期待してやまない。

(法人事務室)

第41回 Neesima Room 企画展

「同志社スポーツ―若草萌えて―」

2012年度春学期の企画展は、「同志社スポーツ―若草萌えて―」と題し、大学体育会に属する50のクラブの現在を資料によって展覧します。課外活動である体育会各クラブは、1891(明治11)年に創部された端艇部(現ボート部)と野球部(現硬式野球部)をはじめとし、120年